



東幸海運株式会社 会社案内 2020



東幸海運株式会社

本社
〒658-0051
神戸市東灘区住吉本町3丁目10番6号
TEL 078-811-5671 FAX 078-821-5752

因島営業所
〒722-2102
広島県尾道市因島重井町5418番地
TEL 0845-24-4001 FAX 0845-24-3483

<http://www.tokokaiun.co.jp>



スマートフォン用サイト



本社 幸栄ビル



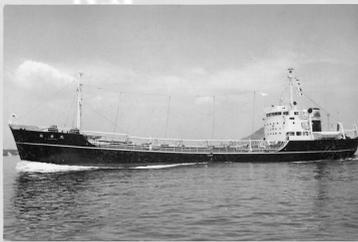
因島営業所・重工事業部

会社概要

本 社	〒658-0051 兵庫県神戸市東灘区住吉本町3丁目10番6号 TEL 078-811-5671 FAX 078-821-5752
営 業 所	〒722-2102 広島県尾道市因島重井町5418番地 TEL 0845-24-4001 FAX 0845-24-3483
設 立	1956年（海運業：幸栄汽船として）
資 本 金	9100万円
主要取引銀行	中国銀行 三井住友銀行 （各敬称略）
主 要 荷 主	出光興産株式会社(出光昭和シェル) JXTGエネルギー株式会社
用 船 先	上野トランステック株式会社(内航) 第一中央近海株式会社(外航)
代 表 者	代表取締役社長 笹木 重雄
社 員 数	乗組員 89名 陸上職 6名 重工事業部23名

沿革

- 1946年(S21) 広島県因島市(現：尾道市)に笹木重工(株)を設立し開業
- 1956年(S31) 幸栄汽船(株)を設立し海運業を開業
上野運輸商会(現：上野トランステック)に用船開始
- 1957年(S32) 会社所在地を兵庫県神戸市に移転
- 1972年(S47) 幸栄汽船(株)を東幸海運(株)に社名変更、秀幸海運(株)設立
- 1984年(S59) 海外子会社S.S.K. SHIPPING S.A. (Panama) 設立
- 1996年(H8) 「豊正丸」を新造
- 2001年(H13) 「豊善丸」を新造
- 2002年(H14) 東幸海運(株)に秀幸海運(株)を合併
東幸海運(株)に笹木重工(株)を合併し重工事業部となる
- 2004年(H16) 「ほだか丸」を新造
- 2009年(H21) 「しなつ」を新造
- 2011年(H23) 海外子会社にて「APOLLO KITA」を建造し、外航貨物船事業を開始
- 2012年(H25) 因島営業所構内にて太陽光発電事業を開始
- 2013年(H26) 「ひなた」を新造
- 2019年(R1) 笹木重雄が代表取締役社長に就任



英幸丸(1959)



ひなた進水式(2013)

2019年5月現在、油槽船5隻と外航貨物船1隻(APOLLO KITA)を運航
現在までの船舶所有数は、のべ31隻(新造21隻、買船10隻)

当社船の特徴

充実して使いやすい航海機器と機関機器配置

当社船では広いブリッジスペースを活かし、電子海図装置(ECDIS)やS/Xバンドレーダーに加え、チャートプロッターなど充実した航海計器を搭載し、安全な航行が行える環境が整っています。

機関制御室は、ブリッジ後方に設けられており、甲板部と機関部が同じフロア内で当直を取れるため、日頃から良好なコミュニケーションが築かれています。内航船の主機は耐久性のある赤阪鐵工所製で、他の補機や配置も可能な限り共用化されており、どの船に乗船しても戸惑わないよう配慮しています。

荷役作業の省力化と快適な居住空間

豊善丸以降の4隻は三菱重工の自動荷役装置を搭載。遠隔バルブ開閉に加え、積付計算やバラスト制御、混油防止などもシステムに組み入れられており、荷役作業の省力化と安全性も向上を図っています。新造船建造時は、実際に乗船する機関長と一航士が常駐し監督し、乗組員にとって使いやすいレイアウトで機器や配管の配置が行われ、居室も過ごしやすくなるよう工夫されています。

若い力と充実した食事

全乗組員の平均年齢は約35歳で、若手乗組員にも働きやすい環境が整っています。若くても実力があれば幹部職員に登用される努力が実りやすい職場です。また、乗船中の食事は健康や船内の雰囲気大きく影響します。当社船では航行区域に関わらず料理専属の司厨長が乗船しており、美味しく栄養バランスに配慮した食事を提供しています。



ご挨拶

当社は1946年に旧日立造船因島工場より独立した鉄工所からスタートし、1956年に本社を神戸に移して海運業を創業、以後60年以上に渡り上野トランステック様のオペレーションの元、内航タンカーによる海上輸送に従事して参りました。

2013年には船団に新造船「ひなた」が加わり、大型内航タンカー5隻の運航体制となりました。そして令和の時代が始まり、日々変化する時代背景のなか、最高レベルの安全を保ちながら、パフォーマンスの高い輸送を実現する難題が求められています。

私たちは、創業理念である三本柱「安全」「社員の幸福」「社会への貢献」を大切にし、最新航海機器や自動荷役システムの搭載による安全性の向上と労務改善、継続的な若手船員(男女)の採用と育成、国土交通省社船実習制度や若年船員計画的雇用への参画、新規事業への進出、WEB教育やBRM講習の定期的な受講や外部研修、ドローンの活用など常に新しい取り組みを続けております。今後とも皆様のご理解とご支援のほど宜しくお願い申し上げます。



代表取締役社長 笹木 重雄

保有船舶一覧 (2019年5月現在)

新鋭船「ひなた」をはじめ、5隻の内航油槽船により、安全で効率的な石油輸送を実現しております。

「豊善丸」以降の全ての油槽船には三菱重工の遠隔自動荷役システム「SUPER CARGO-X」を搭載し、荷役に関連するバルブや機器操作の多くを荷役制御室(COC)から行えるよう自動化しています。

「ひなた」では、タンクごとに独立したベントラインを有して製品油の輸送品質の向上を実現したほか、主機及び補機類について、新NoX規制適合機器として環境にも配慮しております。



ひなた HINATA

用途	: 油槽船(白油)
総トン数	: 3,796GT
載貨重量	: 4,998.78K/T
積載容積	: 6,349.983m ³
全長	: 104.60m (LOA)
型幅	: 16.00m
型深	: 8.60m
航行区域	: 限定近海
船級	: NK
竣工	: 2013年12月



しなつ SHINATSU

用途	: 油槽船(黒油)
総トン数	: 3,575GT
載貨重量	: 4,998.38K/T
積載容積	: 5,599.832m ³
全長	: 104.20m (LOA)
型幅	: 16.00m
型深	: 8.20m
航行区域	: 沿海
船級	: NK
竣工	: 2009年7月



ほだか丸 HODAKA MARU

用途	: 油槽船(白油)
総トン数	: 3,794GT
載貨重量	: 4,998.00K/T
積載容積	: 6,349.836m ³
全長	: 104.60m (LOA)
型幅	: 16.00m
型深	: 8.60m
航行区域	: 限定近海
船級	: NK
竣工	: 2004年10月



豊善丸 HOZEN MARU

用途 : 油槽船(白油)
総トン数 : 3,552GT
載貨重量 : 4,992.08K/T
積載容積 : 6,570.414m³
全長 : 104.21m (LOA)
型幅 : 15.80m
型深 : 8.50m
航行区域 : 限定近海
船級 : NK
竣工 : 2001年12月



豊正丸 TOYOMASA MARU

用途 : 油槽船(白油)
総トン数 : 2,996GT
載貨重量 : 4,990K/T
積載容積 : 5,599.831m³
全長 : 101.15m (LOA)
型幅 : 14.60m
型深 : 7.70m
航行区域 : 限定近海
船級 : NK
竣工 : 1996年6月

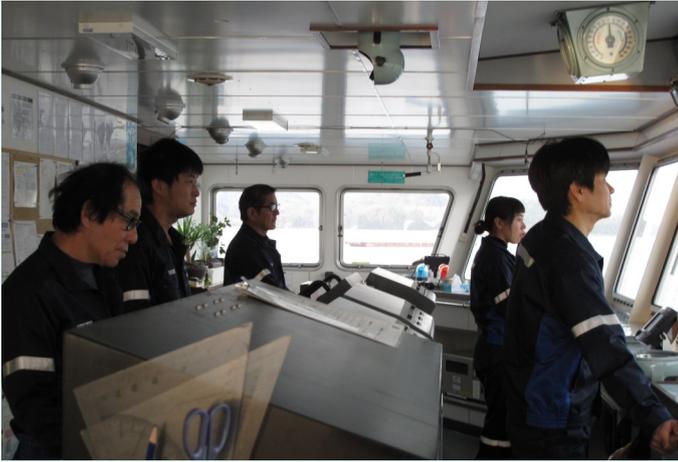


海外子会社(S. S. K. SHIPPING S. A.)所属船

APOLLO KITA

用途 : 一般貨物船
総トン数 : 9,642GT
載貨重量 : 12,308DWT
全長 : 112.89m (LOA)
型幅 : 21.20m
型深 : 14.30m
航行区域 : 近海(外航)
船籍国 : パナマ
船級 : BV
竣工 : 2011年10月

船内作業・船内設備



ブリッジでの操船風景



船内安全ミーティング



荷役制御室(COC)での遠隔荷役作業



陸上パイプラインとの接続作業



ブリッジの航海計器(電子海図、S/Xバンドレーダーほか)



ブリッジ内の機関室遠隔制御システムおよび監視モニター



機関室(中段・カーゴエンジン側)



機関室(主機 アカサカA45S)



食堂



保温・保冷機能を備えた食事トレイ



食事の例(昼食)



娯楽室



ランドリールームおよび乾燥室



浴室



乗組員居室はすべて個室(冷蔵庫、テレビ、シンク等完備)



乗組員居室の例(甲板員・機関員室)